

対象：1部1年、2部1年

該当学年	授 業 科 目 名	担 当 教 員	
1 部 1 年 2 部 1 年	保育原理	古川 寿子	
サブタイトル	保育とは・保育理論の基礎を学ぶ	単 位 数	2
授業形態	講義		
開講時期	後期	出席要件	4 / 5 以上
到 達 目 標			
1. 幼児教育・保育の本質や目標を理解し、幼稚園教育要領・保育所保育指針の基本原則や教育・保育の本質及び目標について理解している 2. 幼児を取り巻く社会的状況と発達課題を理解し、幼児教育・保育制度・保育者の役割を理解している 3. 幼稚園・保育所の歴史、代表的な幼児教育・保育思想を理解し、歴史的視点から現代社会における幼児教育・保育の課題を理解している。			
ディプロマ・ポリシー（専門士授与の方針）との関連			
本科目は「②専門職に関する知識・技能及び表現力を身につける。③多様な協働学習を通して豊かな人間性を身につける。」①乳幼児保育に対する情熱及び責任感を身につける。とを目指す。 保育原理では「子どもとは」「保育とは」「保育者とは」について様々な角度から学び、幼稚園や保育所で集団保育を担う専門職としての知識や責任感を修得し、豊かな人間性を身につける。			
授 業 の 方 法			
保育原理では、保育者の意義・役割・職務内容を、講義を中心に学びを修得していく。 内容に応じてアクティブ・ラーニングの手法を取り入れ、自己の教職観を客観的に捉えるようにする。 また、授業を通して学んだこと、思ったこと考えたこと等を授業シートに記入したものを教員がコメントを書いて返却し、次の学びへと繋げていく。授業内容によって視聴覚教材も活用し、理論と実践が結びつくようにする。			
テキスト・教材・参考図書			
テキスト：『保育原理』 小田豊・神長美津子・箕輪潤子 編著 光生館 2019 年 参考書：「保育所保育指針解説」厚生労働省 フレーベル館 2018 年 「幼稚園教育要領解説」文部科学省 フレーベル館 2018 年 「幼歩連携型認定こども園教育・保育要領解説」内閣府・厚生労働省・文科省 フレーベル館 2018 年			
評 価 の 要 点		総合評価割合	
定期試験、授業シート（授業後に学んだこと、思ったこと、感じたこと等の記入）の内容を総合的に評価する。		定期試験 授業ノート	70% 30%
履修上の注意事項や学習上の助言など			
授業中は積極的に授業に参加することが大切である。グループでの話し合い等では、積極的に発言し学び合えるように努力してほしい。そのためにも、テキストは必ず前もって読んでおくことが必要になってくる。基本的な保育用語が多い授業であり、保育者になるための初めの 1 歩になる授業でもあるため、耳で慣れ、目で慣れ、心に刻み、頭に入れられるように努力してほしい。 授業で毎回、授業内容の振り返りをシートに記入し、しっかり読み返すことが大切である。 定期試験は持ち込み不可である。			

科 目 名 保育原理

授 業 回 数 別 教 育 内 容		身につく資質・能力
1 回	ガイダンス ～授業の目的、内容、授業の進め方を理解する	授業科目の理解
2 回	幼児教育・保育の本質及び目標（子どもの発達研究から）について理解する。	幼児教育・保育の本質及び目標について理解し、説明できる
3 回	幼児教育・保育の本質及び目標（教育学、保育学の研究成果から）について理解する。	幼児教育・保育の本質及び目標について理解し、説明できる
4 回	「幼稚園教育要領」における目標を理解する	「幼稚園教育要領」における目標を理解し、説明できる
5 回	「保育所保育指針」における目標について理解する	「保育所保育指針」における目標について理解し、説明できる
6 回	「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」における目標を理解する	「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」における目標について理解し、説明できる
7 回	乳幼児を取り巻く社会的状況と発達課題—家庭に関する調査から—を理解する	乳幼児を取り巻く社会的状況と発達課題を理解し、説明できる
8 回	乳幼児を取り巻く社会的状況と発達課題—遊び、生活調査から—を理解する	乳幼児を取り巻く社会的状況と発達課題を理解し、説明できる
9 回	幼児教育・保育制度を理解する	幼児教育・保育制度を理解し、設営できる
10 回	幼児教育・保育制度に期待される役割について理解する	幼児教育・保育制度に期待される役割について理解し、説明できる
11 回	保育者の役割について理解する	保育者の役割について理解し説明できる
12 回	幼稚園の歴史について理解する	幼稚園の歴史について理解し、説明できる
13 回	保育所の歴史について理解する	保育所の歴史について理解し、説明できる
14 回	欧米の代表的な幼児教育・保育思想について理解する 日本の代表的な幼児教育・保育思想について理解する	欧米と日本の代表的な幼児教育・保育思想について理解し、説明できる
15 回	振り返りとまとめ	今後の保育者の役割と資質向上への理解する
試験	定期試験	